

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27 48 49	利用者個々の行きたい場所を引き出せていない	個々外出の充実	個々の外出したい場所を把握し、企画調整を行い実行する	12ヶ月
2	12 13	人員不足や職員が定着しない事で現職員への負担も大きくモチベーションの維持ができない	職員が生き活きと働く	職員が意見や思い出を言い合える場を作り交流(親睦)を深め、会話を増やすとともにお互いの心情を知っていく	12ヶ月
3	13	入居者への接遇について改善の余地がある	職員のスキルアップ	自己評価・自己目標を設定し、目標達成に向けて取り組む。また、内部研修を通じて認知症の理解を深める	12ヶ月
4	1	理念の周知・共有ができていないことからケアにばらつきがみられる	フロア理念を共有し実践につなげる	フロアミーティングの際、理念を声に出し周知徹底を図る。また実践できているかをミーティング内でもふり返り、話し合う機会を作り共有していく	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。